

# 1. 沿革

## 関西支所

- 昭和22. 4 林政統一による機構改革に伴う林業試験研究機関の整備のため、大阪営林局内の試験調査部門の編成替により、農林省林業試験場大阪支場を局内に併置
- 昭和25. 4 京都市東山区七条大和大路に大阪支場京都分室を設置
- 昭和27. 7 京都分室を廃止し、その跡地へ支場を移転し京都支場に改称
- 昭和28. 2 支場庁舎敷地として新たに伏見区桃山町（現在地）に所属替、同時に桃山研究室を設置
- 昭和31. 3 現在地に庁舎・研究室を新設・移転
- 昭和34. 7 関西支場に改称
- 昭和40. 3 研究室等を増改築
- 昭和41. 4 部制設置（育林・保護の2部）
- ” 防災研究室を岡山試験地から移転
- 昭和51. 11 庁舎・研究室（昭和31. 3新築のもの）を改築
- 昭和57. 12 鳥獣実験室を新築
- 昭和59. 12 治山実験室を新築
- 昭和62. 12 森林害虫実験棟（旧昆虫飼育室）を建替え
- ” 危険物貯蔵庫を建替え
- 昭和63. 3 ガラス室、隔離温室を建替え
- 昭和63. 10 林業試験場の組織改編により森林総合研究所関西支所に改称
- ” 風致林管理研究室を育林部に新設
- ” 調査室を連絡調整室に改称
- 平成元. 12 粗試料調整測定室を新築
- 平成4. 3 風致林管理実験棟を新築
- 平成4. 4 鳥獣研究室を保護部に新設
- 平成5. 12 森林微生物生理実験棟を新築
- 平成9. 11 敷地、道路拡張のため大蔵省（近畿財務局京都財務事務所）へ引継
- 平成13. 3 育林棟増改築（遺伝子解析実験棟）
- 平成13. 4 省庁改編により独立行政法人森林総合研究所関西支所となる
- 平成17. 3 標本展示・学習館を新築

## 竜の口山量水試験地（旧岡山試験地）

- 昭和10. 8 岡山県上道郡高島村に水源涵養試験地として設置

- 昭和12. 12 林業試験場高島試験地に改称
- 昭和22. 4 林業試験場大阪支場の所管となり、同支場高島分場に改称
- 昭和27. 7 林業試験場京都支場高島分場に改称
- 昭和34. 7 林業試験場関西支場岡山分場に改称
- 昭和41. 4 林業試験場関西支場岡山試験地に改称
- 昭和60. 12 試験地無人化となり事務所を閉鎖
- 昭和63. 9 旧庁舎、宿舍など施設を取壊
- 昭和63. 10 林業試験場の組織改編により試験地廃止（竜の口山量水試験地として量水試験を継続）

# 2. 土地及び施設

## 1. 土地

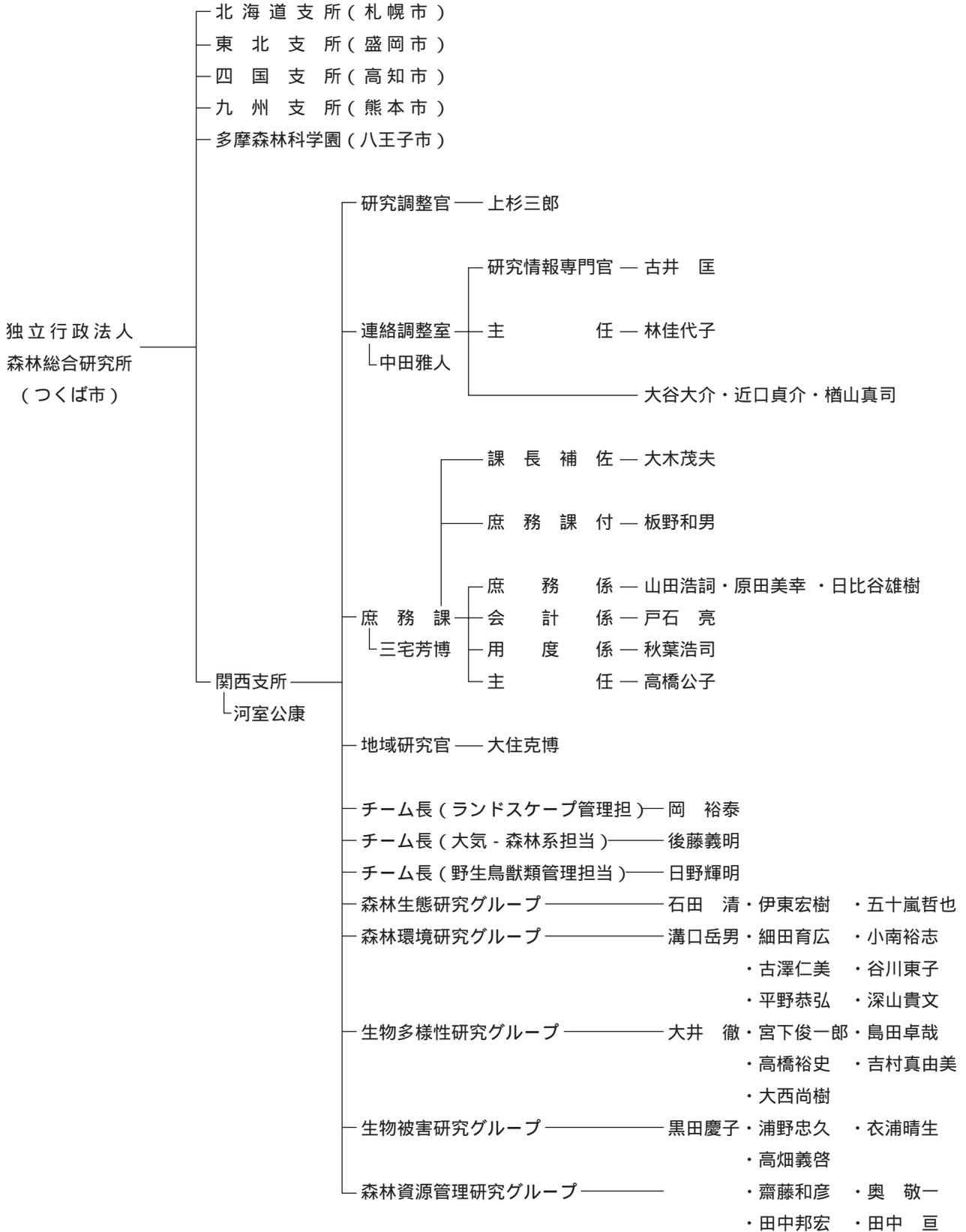
関西支所敷地	64,046m <sup>2</sup>
島津実験林	7,023m <sup>2</sup>
宇治見実験林	3,818m <sup>2</sup>
岡山実験林	13,324m <sup>2</sup>
計	88,211m <sup>2</sup>

## 2. 施設（延べ面積）

庁舎	3棟	2,251m <sup>2</sup>
内訳		
研究室（本館）		(1,507)
”（別館）		(604)
機械室		(140)
標本展示・学習館	1棟	248m <sup>2</sup>
温室	1 ”	85m <sup>2</sup>
ガラス室	1 ”	56m <sup>2</sup>
隔離温室	1 ”	124m <sup>2</sup>
殺菌培養室	1 ”	48m <sup>2</sup>
樹病低温実験室	1 ”	91m <sup>2</sup>
森林害虫実験棟	1 ”	219m <sup>2</sup>
森林微生物生理実験棟	1 ”	118m <sup>2</sup>
鳥獣実験室	1 ”	139m <sup>2</sup>
治山実験室	1 ”	157m <sup>2</sup>
粗試料調整測定室	1 ”	124m <sup>2</sup>
材線虫媒介昆虫実験室	1 ”	41m <sup>2</sup>
風致林管理実験棟	1 ”	260m <sup>2</sup>
遺伝子解析実験棟	1 ”	138m <sup>2</sup>
事務連絡所	1 ”	223m <sup>2</sup>
その他	10 ”	370m <sup>2</sup>
計	28棟	4,692m <sup>2</sup>

### 3. 組織

(平成18年3月31日現在)



## 4. 人の動き

(17.4.1～18.3.31)

17.4.1付

林木育種センター出向

関西支所連絡調整室長

三浦 秀司

(北海道育種場連絡調整課長)

近畿中国森林管理局出向(総務部経理課)

関西支所庶務課主任

大槻 範子

立地環境研究領域養分環境研究室長に

関西支所森林環境研究グループ長

金子 真司

九州支所山地防災研究グループ長に

関西支所主任研究官

玉井 幸治

(森林環境研究グループ)

関西支所連絡調整室長に

関西支所庶務課課長補佐

中田 雅人

関西支所庶務課課長補佐に

企画調整部研究協力科渉外連絡専門官

大木 茂夫

関西支所連絡調整室主任に

関西支所庶務課主任

林 佳代子

関西支所庶務課主任に

関西支所連絡調整室主任

高橋 公子

関西支所地域研究官に

関西支所チーム長

大住 克博

(ランドスケープ保全担当)

関西支所チーム長に

林業経営・政策研究領域主任研究官

岡 裕泰

(ランドスケープ管理担当)

(林業システム研究室)

関西支所森林環境研究グループ長に

企画調整部木曽試験地主任研究官

溝口 岳男

関西支所主任研究官に

東北支所主任研究官

細田 育広

(森林環境研究グループ)

(森林環境研究グループ)

関西支所主任研究官に

森林管理研究領域主任研究官

齋藤 和彦

(森林資源管理研究グループ)

(環境計画研究室)

関西支所森林生態研究グループに

森林植生研究領域植生管理研究室

五十嵐哲也

関西支所主任研究官に

関西支所生物多様性研究グループ

吉村真由美

(生物多様性研究グループ)

関西支所主任研究官に

関西支所生物被害研究グループ

高畑 義啓

(生物被害研究グループ)

17.7.1付

関西支所庶務課主任に

関西支所庶務課

小川美江子

17.8.1付

育児休業(17年8月10日まで)

関西支所森林資源管理研究グループ長

近藤 洋史

17.9.1付

九州支所主任研究官に

関西支所森林資源管理研究グループ長

近藤 洋史

(森林資源管理研究グループ)

17.11.7付

育児休業(17年11月30日まで)

関西支所主任研究官

平野 恭弘

(森林環境研究グループ)

17.11.29 死亡	関西支所庶務課主任	小川美江子
17.12.1付 新規採用 関西支所主任研究官に (生物多様性研究グループ)		高橋 裕史
17.12.21付 育児休業(18年9月15日まで)	関西支所主任研究官	谷川 東子
18.3.1付 関西支所庶務課に	総務部総務課	日比谷雄樹
18.3.31付 定年退職	関西支所長	河室 公康

## 5. 会議等の開催

### 1. 関西地区林業試験研究機関連絡協議会総会

この協議会は、森林総合研究所関西支所、四国支所及びその管内18府県の公立林業試験研究機関、林木育種センター関西育種場を含む22機関の長を会員として構成されており、年一回総会が開催される。平成17年度の第58回総会は、和歌山県農林水産総合技術センター林業試験場の企画により6月9日・10日の両日にわたって和歌山県田辺市で開催された。会議は森林総合研究所から関東・中部林業試験研究機関連絡協議会の情勢報告、森林総合研究所関西支所・四国支所から実行課題や高度化事業の採択状況を説明、林木育種センター関西育種場から研究課題・運営重点事項など林業試験研究関係の動向が紹介された。

各研究専門部会（8部会）から活動の状況と今後の計画について報告、提案され活発な討議が行われ、次年度の実施計画も含め承認された。

### 2. 林業研究開発推進近畿・中国ブロック会議

この会議は、林業研究開発推進会議要領に基づいて毎年開催されている。平成17度の会議は、ぱ・る・るプラザ京都において、9月8日に開催された。

会議には、府県側から近畿・中国地区14府県の林務部局担当者及び林業試験研究機関の長が、また国側から近畿中国森林管理局、林木育種センター関西育種場の関係者ならびに林野庁指導部研究普及課の赤間亮夫首席研究企画官及び塚田直子研究企画官及び山下正輝指導係長、森林総合研究所から川喜多進理事（企画・総務担当）及び関西支所関係職員が出席した。

会議では、林野庁から新規事業等の概要及び最近の研究情勢について、森林総合研究所、関西育種場、近畿中国森林管理局から試験研究及び技術開発の動向について、それぞれ紹介された。つづいて各府県から主要な研究の成果が報告された。さらに、「先端技術を活用した農林水産研究高度化事業（地域領域設定型研究）に対する提案課題」により各府県から提出された9課題の要望が各府県から提案され討論が行われた。これらの議題を討論した結果、2課題が抽出された。（抵抗性を利用したマツ林保全技術の開発に関わる課題、強度間伐による人工林の針広混交化技術指針の開発に関わる課題）

### 3. 関西支所業務報告会

支所組織内の研究者が今年度の業務内容、次年度の計画を報告し、支所として今後の業務を検討する場として、12月15～16日（午前）全研究員参加により支所業務報告会を行った。

### 4. ワークショップ・研究推進会議等

1) 運営費交付金プロジェクト「地域社会の特性に基づいたランドスケープの保全・利活用 - 研究の目指すべき方向 -」ワークショップを9月29日に、支所において開催した。

このワークショップは、交付金プロジェクト「人と自然のふれあい機能向上を目的とした里山の保全・利活用技術の開発」の立ち上げを目指し、その方向性を検討するために開催された。ワークショップには、近畿中国森林管理局企画官多田弘之氏、京都府林務課主幹田中誠司氏、龍谷大学教授土屋和三氏、NPO法人シニア自然大学理事堤正克氏、びわ粉自然環境ネットワーク代表寺川庄蔵氏らの外部有識者、埴田宏研究管理官、藤井智之多摩森林科学園長および関係する研究者が参加した。

ワークショップでは、外部有識者や内部の研究者より、今までの取り組みが紹介され、今後必要な研究分野について意見交換を行った。

2) 運営費交付金プロジェクト「人と自然のふれあい機能向上を目的とした里山の保全・利活用技術の開発」事前研究推進評価会議を18年2月9日に、支所において開催した。

この会議は、平成18年度より開始する交付金プロジェクトの研究計画の妥当性を、事前評価するために開催された。会議には埜田宏研究管理官、研究担当予定者のほか、京都教育大学教育学部教授山下宏文氏及び京都大学大学院地球環境学堂助教授柴田昌三氏が、外部評価委員として出席した。

会議では、研究計画の紹介の後質疑が行われ、外部評価委員より構成課題間の連携の強化を求める意見が出された。

3) 先端技術を活用した農林水産研究高度化事業「ナラ類集団枯死被害防止技術と評価法の開発」平成17年度研究推進会議を18年2月3日に森林総合研究所第3会議室において開催した。

この会議は平成17年より3年間研究予定の上記研究課題について、研究計画に基づいて開催されるものであり会議には、研究担当者、福山研二研究管理官、牧野俊一森林昆虫研究領域長のほか、外部有識者として京都工芸繊維大学、山岡亮平教授、林野庁指導部研究普及課、赤間亮夫首席研究企画官が出席した。

会議では、初年度における研究成果について、中核研究機関として森林総合研究所、共同研究機関の山形県森林研修センター、新潟県森林研究所、長野県林業総合センター、京都府林業試験場の各課題担当者から、フェロモン剤を用いた誘引試験や遺伝子解析の結果等が報告され、研究推進上の問題点や次年度の研究計画などについて討論を行った。

## 5. 関西支所研究評議会

18年3月3日、外部有識者として小原正人近畿中国森林管理局計画部長、金澤洋一神戸大学大学院自然科学研究科教授、渡辺和夫奈良県森林技術センター所長の3名を招いて、支所研究評議会が開催された。本評議会は、支所の研究運営に関する全般的な意見聴取を行う場として、独立行政法人化にともない13年度から設置された。

支所側から独立行政法人森林総合研究所の次期中期目標・計画及び研究所ミッションの概要、本年度の関西支所の業務、主要成果等を報告した後に、外部有識者から指導・助言を受けた。

## 6. 依頼出張(89件)

氏名	依頼元	出張期間	用務
黒田 慶子	国際樹液サミット実行委員会	H17.4.14~H17.4.18	第3回・国際樹液サミット出席
大井 徹	京都府農林水産部	H17.4.28	野生動物被害対策新技術開発検討委員会出席
大井 徹	富山県生活環境部	H17.5.13	第2回富山県ツキノワグマ等保護管理検討委員会出席
日野 輝明	名古屋大学	H17.5.16~H17.5.17	「獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能」の現地調査
伊東 宏樹	名古屋大学	H17.5.16~H17.5.17	「獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能」の現地調査
奥 敬一	近畿中国森林管理局	H17.5.18	「第1回里山再生推進モデル事業検討委員会」委員派遣
大井 徹	京都大学霊長類研究所	H17.5.20	インドシナ半島におけるマカク属の進化に関する調査研究打合せ
大住 克博	近畿中国森林管理局	H17.5.27	平成17年度近畿中国森林管理局技術開発委員会(第1回)出席
岡 裕泰	(財)国際緑化推進センター	H17.5.27	第1回CDM植林技術指針調査委員会出席
河室 公康	京都府森林審議会	H17.5.31	林地開発許可案件の適否に関する事項の審議
大井 徹	滋賀県琵琶湖環境部	H17.6.2	平成17年度第1回滋賀県ニホンザル保護管理検討委員会出席
日野 輝明	(財)自然環境研究センター	H17.6.3~H17.6.4	平成17年度大台ヶ原ニホンジカ捕獲柵ワーキンググループ出席
齋藤 和彦	北海道大学	H17.6.4~H17.6.5	「森林環境ガバナンス構築の条件に関する研究」に関する資料収集
大井 徹	近畿中国森林管理局	H17.6.7	平成17年度業務研修「野生生物保護管理研修」講師派遣
日野 輝明	近畿中国森林管理局	H17.6.7~H17.6.8	平成17年度業務研修「野生生物保護管理研

氏名	依頼元	出張期間	用務
大住 克博	京都府農林水産部	H17. 6. 10	修」講師派遣 気象災害に強い森林づくり検討委員会出席
日野 輝明	名古屋大学	H17. 6. 15~H17. 6. 17	「獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能」の現地調査
伊東 宏樹	名古屋大学	H17. 6. 15~H17. 6. 17	「獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能」の現地調査
古澤 仁美	名古屋大学	H17. 6. 15~H17. 6. 17	「獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能」の現地調査
大住 克博	林野庁	H17. 6. 16	平成17年度林業普及指導員資格試験審査委員会出席
齋藤 和彦	北海道大学	H17. 6. 24~H17. 6. 25	「森林環境ガバナンス構築の条件に関する研究」に関する資料収集
大井 徹	鳥根県中山間地域研究センター	H17. 6. 30~H17. 7. 1	「ツキノワグマ講演会」講演に係る講師派遣
黒田 慶子	日本学会議	H17. 7. 3	林学研究連絡委員会（第19期第7回）出席
後藤 義明	近畿中国森林管理局	H17. 7. 5~H17. 7. 6	橋梁調査
大井 徹	農林水産省生産局	H17. 7. 11	「鳥獣による農林水産業被害対策に関する検討会ワーキンググループ（第2回）」委員派遣
日野 輝明	名古屋大学	H17. 7. 12~H17. 7. 13	「獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能」の現地調査
伊東 宏樹	名古屋大学	H17. 7. 12~H17. 7. 13	「獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能」の現地調査
河室 公康	奈良県森林技術センター	H17. 7. 13	平成17年度奈良県森林技術研究評議会出席
大住 克博	京都府農林水産部	H17. 7. 19	気象災害に強い森林づくり検討委員会（第2回）出席

氏名	依頼元	出張期間	用務
奥 敬一	近畿中国森林管理局	H17.7.20	「第1回里山再生ガイドライン作成部会」委員派遣
黒田 慶子	奈良県森林技術センター	H17.7.21	平成17年度奈良県林業技術開発推進会議会委員派遣
日野 輝明	情報・システム研究機構 国立情報学研究所	H17.7.21~H17.7.22	平成17年度国際学術情報流通基盤整備事業作業グループ(生物系)個別会議出席
大井 徹	京都府農林水産部	H17.7.25	特定鳥獣保護管理計画-ニホンジカ-検討会(専門家会議)出席
大住 克博	近畿中国森林管理局	H17.7.28	「レクリエーションの森」検討委員会出席
河室 公康	南山大学	H17.8.3~H17.8.6	総合政策学部における「地球科学」の集中講義に係る講師派遣
河室 公康	福井県総合グリーンセンター	H17.8.10~H17.8.11	平成17年度福井県林業研究評価会議出席
大井 徹	京都府農林水産部	H17.8.12	特定鳥獣保護管理計画-ニホンジカ-検討会(専門家会議)出席
日野 輝明	名古屋大学	H17.8.18~H17.8.19	「獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能」の現地調査
伊東 宏樹	名古屋大学	H17.8.18~H17.8.19	「獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能」の現地調査
大井 徹	環境省自然環境局近畿地区自然保護事務所	H17.8.30	平成17年度大台ヶ原自然再生推進計画評価委員会出席
日野 輝明	環境省自然環境局近畿地区自然保護事務所	H17.8.30	平成17年度大台ヶ原自然再生推進計画評価委員会出席
大住 克博	京都府農林水産部	H17.8.31	気象災害に強い森林づくり検討委員会(第3回)出席
大住 克博	近畿中国森林管理局	H17.9.1	「レクリエーションの森」に関する検討委員会出席
大井 徹	青森県環境生活部	H17.9.9~H17.9.10	下北半島ニホンザル対策評価科学委員会出席

氏名	依頼元	出張期間	用務
大井 徹	舞鶴工業集積協議会	H17.9.14	猿害地域の現状視察, 当協議会の新商品開発事業についてのアドバイス
大井 徹	農林水産省生産局	H17.9.16	「鳥獣による農林水産業被害対策に関する検討会に係る被害防止マニュアル作成WG」委員派遣
日野 輝明	名古屋大学	H17.9.21~H17.9.22	「獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能」の現地調査
伊東 宏樹	名古屋大学	H17.9.21~H17.9.22	「獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能」の現地調査
大井 徹	近畿農政局	H17.9.29	平成17年度近畿地区野生鳥獣対策連絡協議会出席
大住 克博	近畿中国森林管理局	H17.10.1	「平成17年度里山シンポジウム」パネラー派遣
大住 克博	京都府農林水産部	H17.10.7	気象災害に強い森林づくり検討委員会(第4回)出席
河室 公康	NPO法人シニア自然大学	H17.10.7	「花粉症対策 - スギ花粉症発生源対策の現状と問題点 -」講師派遣
黒田 慶子	京都府環境審議会	H17.10.12	京都府環境審議会自然・鳥獣保護部会出席
日野 輝明	名古屋大学	H17.10.17~H17.10.19	「獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能」の現地調査
伊東 宏樹	名古屋大学	H17.10.17~H17.10.19	「獣害によって衰退した森林生態系における生物間相互作用ネットワークの構造と機能」の現地調査
奥 敬一	近畿中国森林管理局	H17.11.1	「第2回モニタリング調査検討部会」委員派遣
大住 克博	林野庁	H17.11.6~H17.11.8	平成17年度林業普及指導員資格試験(口述試験)審査委員派遣
大井 徹	北陸農政局	H17.11.7~H17.11.8	第2回北陸地域野生鳥獣対策連絡協議会及び北陸地域鳥獣対策ネットワーク総会出席

氏名	依頼元	出張期間	用務
河室 公康	山口県林業指導センター	H17.11.10~H17.11.11	平成17年度林業試験研究に関する外部評価会議委員派遣
上杉 三郎	近畿中国森林管理局	H17.11.15~H17.11.16	平成17年度森林・林業交流研究発表会出席
大住 克博	林野庁	H17.11.21~H17.11.22	平成17年度林業普及指導員資格試験(口述試験)審査委員派遣
奥 敬一	近畿中国森林管理局	H17.11.24	「里山再生推進モデル事業検討委員会(第2回)」、「里山再生ガイドライン作成部会(第2回)」委員派遣
大住 克博	神戸大学	H17.11.25	神戸大学大学院自然科学研究科プロジェクト研究外部評価委員派遣
日野 輝明	近畿中国森林管理局	H17.11.28~H17.11.29	「(仮称)東中国山地緑の回廊」世知準備委員会出席
日野 輝明	環境省自然環境局近畿地方環境事務所	H17.12.16	大台ヶ原自然再生推進計画評価委員会(第2回)利用対策部会及び森林生態系部会合同部会委員派遣
河室 公康	近畿中国森林管理局	H17.12.19	平成17年度近畿中国森林管理局技術開発委員会(第2回)出席
大井 徹	滋賀県琵琶湖環境部	H17.12.21	平成17年度第2回滋賀県ニホンザル保護管理計画検討委員会出席
齋藤 和彦	北海道大学	H18.1.11~H18.1.12	「森林環境ガバナンス構築の条件に関する研究」に係る資料収集
奥 敬一	NPO法人シニア自然大学	H18.1.14	「里山の維持・管理 - どう手をいれるか - 」講師派遣
大井 徹	京都大学霊長類研究所	H18.1.26~H18.1.27	京都大学霊長類研究所共同利用研究会出席
日野 輝明	環境省自然環境局近畿地方環境事務所	H18.1.27	第2回森林生態系保全再生手法検討ワーキンググループ職員派遣
高橋 裕史	環境省自然環境局近畿地方環境事務所	H18.1.27	第2回ニホンジカ保護管理対策検討ワーキンググループ職員派遣
黒田 慶子	京都大学生存圏研究所	H18.1.27	「生存圏における昆虫生態のモニタリング技術の新展開」に関する講演
大住 克博	近畿中国森林管理局	H18.1.31	伊崎国有林の取扱いに関する検討における

氏名	依頼元	出張期間	用務
大井 徹	滋賀県琵琶湖環境部	H18.2.1	拡大ワーキンググループ出席 平成17年度第3回滋賀県ニホンザル保護管理計画検討委員会委員派遣
大井 徹	青森県環境生活部	H18.2.6~H18.2.8	下北半島ニホンザル対策評価科学委員会出席
奥 敬一	近畿中国森林管理局	H18.2.15	箕面国有林に関する意見交換会(第2回)出席
大住 克博	岐阜県立森林文化アカデミー	H18.2.22	平成17年度森林文化アカデミー課題研究公表会評価委員派遣
齋藤 和彦	北海道大学	H18.2.23~H18.2.24	「森林環境ガバナンス構築の条件に関する研究」に係る資料収集
奥 敬一	近畿中国森林管理局	H18.2.27	里山再生推進モデル事業検討委員会(第3回)委員派遣
黒田 慶子	滋賀県林業技術者懇談会	H18.3.3	「平成18年度滋賀県林業技術者懇談会研究会」講師派遣
大住 克博	三重森林管理署	H18.3.6~H18.3.8	大又国有林トガサワラ保護林保全林分調査
伊東 宏樹	三重森林管理署	H18.3.6~H18.3.8	大又国有林トガサワラ保護林保全林分調査
日野 輝明	環境省自然環境局近畿地方環境事務所	H18.3.9	大台ヶ原自然再生推進計画評価委員会第1回森林生態系部会委員派遣
高橋 裕史	環境省自然環境局近畿地方環境事務所	H18.3.9	大台ヶ原自然再生推進計画評価委員会第1回ニホンジカ保護管理部会出席
大井 徹	滋賀県琵琶湖環境部	H18.3.14	第1回ツキノワグマ保護管理計画検討委員会出席
大井 徹	島根県農林水産部	H18.3.15	西中国山地ツキノワグマ保護管理対策協議会科学部会出席
大井 徹	富山県生活環境部	H18.3.16	富山県ツキノワグマ等保護管理検討委員会第4回WG出席
日野 輝明	環境省自然環境局近畿地方環境事務所	H18.3.20	第2回大台ヶ原自然再生推進計画評価委員会委員派遣

## 7. 職員研修(10件)

氏名	実施機関	研修期間	研修内容
山田 浩詞	人事院近畿事務局	H17. 6. 10	JST基本コース(仕事と人のマネジメント研修)
齋藤 和彦	森林総合研究所	H17. 6. 15~H17. 6. 20	平成17年度所内短期技術研修
大谷 大介	農林水産省	H17. 7. 12~H17. 7. 15	平成17年度第1回接遇研修
大木 茂夫	人事院近畿事務局	H17. 10. 25~H17. 10. 28	第29回近畿地区課長補佐研修
古井 匡	人事院近畿事務局	H17. 11. 15~H17. 11. 18	第35回近畿地区係長研修
高橋 裕史	森林総合研究所	H17. 12. 7~H17. 12. 9	平成17年度 種試験採用者研修
深山 貴文	森林技術総合研修所	H18. 1. 11~H18. 1. 13	平成17年度森林技術政策研修
原田 美幸	人事院近畿事務局	H18. 1. 17	平成17年度育児休業及び女子福祉制度研修会
大西 尚樹	(株)NOVA	H17. 6. 14~H18. 2. 28	語学研修(英語)
日野 輝明	(株)ECC	H17. 7. 20~H18. 2. 23	語学研修(中国語)

## 8. 受託研修生受入(20件)

氏名	所属機関	研修内容	研修期間	受入担当グループ等
鳥山 淳平	京都大学農学部	森林土壌の物理特性測定およびデータ解析法	H17. 4. 1~H18. 2. 28	森林環境研究G
井上みずき	京都大学大学院農学研究科	マイクロサテライトマーカーによる遺伝分析手法	H17. 4. 20~H18. 3. 31	森林生態研究G
牧本 卓史	岡山県林業試験場	サビマダラオオホソカタムシの増殖と寄生方法及び環境の影響	H17. 5. 9~H17. 8. 8	生物被害研究G
加藤 禎孝	奈良女子大学大学院人間文化研究科	アイソザイム実験手法及び解析	H17. 4. 18~H18. 3. 31	森林生態研究G
川長奈津美	大阪教育大学	マイクロサテライト分析による遺伝解析	H17. 4. 30~H18. 3. 31	森林生態研究G
石井 敦子	滋賀県立大学大学院	里山二次林の更新課程の研究	H17. 5. 1~H18. 3. 31	地域研究官

氏名	所属機関	研修内容	研修期間	受入担当グループ等
吉野 拓也	京都大学大学院農学研究科	衰退過程にある大台ヶ原トウヒ林における樹幹解析	H17.5.1~H18.2.28	チーム長(野生鳥獣類管理担当)
鵜飼 剛平	京都大学農学部	里山における河川生態系の特徴解明	H17.5.16~H18.3.31	森林資源管理研究G
森川 優子	三重大学生物資源学部	アイソザイムによる遺伝解析	H17.6.9~H18.3.31	森林生態研究G
堀内 美緒	京都大学大学院農学研究科	里山ランドスケープの形成要因に関する研究	H17.5.16~H18.3.31	森林資源管理研究G
有馬 浩史	近畿野鳥研究会	カワウの口内粘膜細胞からゲノミックDNAを抽出、CHD遺伝子領域のPCR増幅・シーケンス	H17.6.1~H17.12.15	生物多様性研究G
関本 弘路	近畿大学農学部	樹木細根の識別・定量と化学性(Al, Ca)の分析、土壌化学性分析	H17.7.1~H18.2.28	森林環境研究G
大岸万里子	京都大学大学院地球環境学堂	京都府北部地域における里山資源を活用した地域活性化の基礎的条件に関する研究	H17.7.19~H18.3.31	森林資源管理研究G
上村真由子	神戸大学大学院自然科学研究科	森林群落における炭素循環に関する基礎的研究	H17.7.19~H18.3.31	森林環境研究G
壇浦 正子	神戸大学大学院自然科学研究科	森林群落における炭素循環に関する基礎的研究	H17.7.19~H18.3.31	森林環境研究G
北村 芙美	京都大学大学院農学研究科	マイクロサテライトDNA解析	H17.9.1~H17.12.15	生物多様性研究G
高橋 明子	京都大学大学院農学研究科	堅果中のタンニンの分析手法の修得及び野ネズミを用いた選好性試験の研修	H17.10.3~H18.3.31	生物多様性研究G
喜友名朝次	沖縄県林業試験場	天敵の人工飼料作成技術、天敵増殖技術、野外放飼技術	H18.1.10~H18.3.10	生物被害研究G
松島 洋介	京都大学大学院農学研究科	里山景観解析・評価手法の修得	H18.1.10~H18.3.31	森林資源管理研究G
Thomas Moore	鳥取大学農学部	DNA解析法(DNA抽出、PCR法)	H18.3.6~H18.3.31	生物多様性研究G

## 9. 海外派遣・出張(10件)

氏名	行き先	用務	出張期間	備考
大井 徹	ミャンマー	マカクの分布・生息実態調査	H17.5.4～H17.5.11	京都大学霊長類研究所(科学研究費補助金)
五十嵐哲也	インドネシア	「CDM植林が生物多様性に与える影響評価と予測技術の開発」の遂行にあたり、カウンターパート、関連研究機関とのセミナー参加	H17.5.15～H17.6.14	地球環境保全試験研究費
平野 恭弘	エストニア、スイス、チェコ	第7回国際酸性降水物会議に関する国際研究集会参加・発表	H17.6.4～H17.6.19	運営費交付金(国際研究集会)
岡 裕泰	オーストラリア	第22回IUFRO世界大会参加	H17.8.6～H17.8.14	環境研究総合推進費
五十嵐哲也	インドネシア	「CDM植林が生物多様性に与える影響評価と予測技術の開発」のための現地調査	H17.9.18～H17.10.4	地球環境保全試験研究費
大井 徹	ミャンマー、タイ	マカクの分布・生息実態調査・研究打合せ	H17.10.6～H17.10.22	京都大学霊長類研究所(科学研究費補助金)
深山 貴文	アメリカ	第7回国際二酸化炭素会議参加・発表	H17.9.25～H17.10.2	運営費交付金(国際研究集会)
黒田 慶子	カナダ	「人と環境の相互作用としてとらえた里山ランドスケープ形成システムの解明」のための現地調査・情報収集	H17.11.17～H17.11.27	農林水産省受託事業費
五十嵐哲也	インドネシア	「CDM植林が生物多様性に与える影響評価と予測技術の開発」のための現地調査	H18.2.12～H18.2.28	地球環境保全試験研究費
大井 徹	ミャンマー、タイ	マカクの分布・生息実態調査・研究打合せ	H18.2.19～H18.3.11	京都大学霊長類研究所(科学研究費補助金)

## 10. 業務遂行に必要な免許の取得・技能講習等の受講

免許の種類	新規取得者数	技能講習等の種類	新規取得者数
危険物取扱者免許		ボイラー取扱技能講習	1
乙種第2類	1	伐木等業務従事者特別教育	1
乙種第3類	2	刈払機作業安全衛生教育	1
乙種第4類	2	不整地運搬車運転技能講習	2
乙種第5類	2	甲種防火管理者講習	2
		特別管理産業廃棄物管理責任者講習	4
		安全運転管理者講習	1

## 11. 見学者

区分	国	都道府県	林業団体	一般	学生	外国	合計
人数	9	12	0	308	555	2	886

## 12. 試験地一覧

国有林

試験地名	森林管理署	森林事務所	林小班	樹種	面積(ha)	設定年度	終了予定年度	担当研究グループ(G)
高取山スギ人工林皆伐用材林作業収穫試験地	奈良	吉野	56ほ 49ほ	スギ	0.40	昭10	西暦 2049	森林資源管理
高取山ヒノキ人工林皆伐用材林作業収穫試験地	奈良	"	56ほ	ヒノキ	0.40	昭10	2016	森林資源管理
高野山スギ人工林皆伐用材林作業収穫試験地	和歌山	高野	31ろ	スギ	0.17	昭10	2015	森林資源管理
高野山ヒノキ人工林皆伐用材林作業収穫試験地	和歌山	"	31ろ	ヒノキ	0.25	昭10	2012	森林資源管理
滝谷スギ人工林皆伐用材林作業収穫試験地	兵庫	波賀	136り	スギ	2.25	昭11	2019	森林資源管理
新重山ヒノキ人工林皆伐用材林作業収穫試験地	広島	三和	49と	ヒノキ	1.05	昭12	2015	森林資源管理

試験地名	森林管理署	森林事務所	林小班	樹種	面積 (ha)	設定年度	終了予定年度	担当研究グループ(G)
遠藤スギその他択伐用材林作業収穫試験地	岡山	上斎原	39ろ	スギ	1.67	昭12	2056	森林資源管理
奥島山アカマツ天然林画伐用材林作業収穫試験地	滋賀	八幡	79は	アカマツ	1.75	昭13	2017	森林資源管理
地獄谷アカマツ天然林その他択伐用材林作業収穫試験地	奈良	郡山	17わ	アカマツ スギ・ヒノキ	1.73	昭15	2041	森林資源管理
篠谷山スギ人工林皆伐用材林作業収穫試験地	鳥取	根雨	715い	スギ	0.80	昭34	2043	森林資源管理
茗荷淵山ヒノキ人工林皆伐用材林作業収穫試験地	和歌山	飛鳥	41へ	ヒノキ	0.71	昭35	2069	森林資源管理
白見スギ人工林皆伐用材林作業収穫試験地	和歌山	新宮	5ほ	スギ	1.24	昭37	2071	森林資源管理
六万山スギ人工林皆伐用材林作業収穫試験地	石川	白峰	55る	スギ	0.79	昭37	2066	森林資源管理
竜の口山量水試験地	岡山	岡山	811ほ・に・は	アカマツ 他	44.99	昭10	2013	森林環境
馬乗山試験地	広島	佐伯	69ち	スギ・ヒノキ	6.50	昭43	2005	森林生態
竹林施業技術の改良試験地	京都大阪	木津	523い	マダケ	0.13	昭61	2013	森林生態
針広混交誘導試験地	京都大阪	箕面	72ほ・り	ヒノキ	1.50	昭60	2005	森林生態
北谷水文試験地	京都大阪	木津	509い	広葉樹	51.60	昭63	2006	森林環境
嵐山国有林風致試験地	京都大阪	東山	38	スギ他	59.03	平元	2008	森林資源管理
スギ花粉暴露回避試験地	京都大阪	醍醐	30は	スギ	0.15	平15	2008	森林生態

## 13. 気象年報

17年 月	気温 (測高 120cm)							気温別日数 (測高 120cm)				
	平均	平均 最高	平均 最低	最高	起日	最低	起日	最 高		最 低		
								< 0	25	< -10	< 0	25
1	4.0	9.0	0.3	15.5	29	-2.8	23				19	
2	4.4	8.9	0.5	15.0	23	-3.8	10				12	
3	7.2	12.8	2.2	19.7	10	-3.3	5				6	
4	14.6	21.6	8.3	31.1	30	0.8	1		5			
5	18.0	24.3	12.2	30.0	5	7.0	6		11			
6	24.0	29.5	19.4	35.0	25	12.9	2		26			
7	26.3	31.2	22.7	36.0	21	19.7	2		28			1
8	27.5	33.1	23.6	36.9	5	19.0	16		31			7
9	24.8	30.0	21.1	35.5	2	14.9	30		27			
10	18.0	23.0	14.4	29.2	2	8.2	28		9			
11	10.9	16.9	6.3	23.1	4,5	1.0	17					
12	3.6	8.1	-0.2	13.7	1	-3.6	25				19	
年	15.3	20.7	10.9						137		56	8
極値				36.9	8 / 5	-3.8	2 / 10					

17年 月	湿度% (測高 120cm)			降水量 (mm)			量別降水日数					
	平均	最小	起日	総量	最大 日量	起日	1 mm	10 mm	30 mm	50 mm	100 mm	300 mm
1	85.7	37.6	31	36.0	13.0	15	4	2				
2	83.3	31.0	1	57.5	17.5	16	9	2				
3	83.1	29.0	21	100.0	31.0	17	7	5	1			
4	71.0	18.7	27	34.5	10.5	12	6	1				
5	75.2	20.5	26	87.5	29.5	7	5	4				
6	83.3	31.6	1	74.0	19.5	11	8	3				
7	90.2	40.3	20	261.5	47.5	3,14	13	6	4			
8	87.4	28.2	29	94.5	39.0	30	11	4	1			
9	88.3	43.7	29	119.5	27.5	5	9	4				
10	89.9	40.4	24	118.5	29.0	15	11	4				
11	88.8	37.0	10	35.5	21.5	11	3	1				
12	83.4	30.3	17	26.5	18.0	6	4	1				
年	84.1			1,045.5			90	37	6			
極値		18.7	4 / 27		47.5	7 / 3,14						

観測場所 (構内気象観測露場)

標 高 : 65m

測定点 : 北緯34° 56 20 東経135° 46 40

住 所 : 京都市伏見区桃山町永井久太郎68番地

## 14. 標本展示・学習館

### 1. 展示の内容

森林に関わる多くの研究分野の中から、関西支所の主な研究成果を、いくつかを展示しています。

テーマは「里山から奥山まで」です。

森林には多くの種類の生物が棲み、環境の保全、木材などを生産する機能を持っています。このような中から、関西支所では里山を中心に、人間と森林、生物に関わる多くの問題を取り上げて、それらの科学的解明と技術開発を行っています。

### 2. 開館日時等

開館日 平日のみ（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

開館時間 9：00～16：00

その他 担当者が常駐しておりません。見学希望者は本館へお越しください。  
団体でお越しの方は、事前にご連絡下さい。